

令和6年度 大阪府立豊中支援学校 第2回 学校運営協議会記録

1、日時：令和6年9月25日（水）10：30－11：45

2、場所：本校被服室

3、構成：＜ 委員 ＞ 6名

＜事務局＞ 校長、教頭2名、首席2名、教諭1名

＜ 傍聴 ＞ なし

4、内容

10:30	第2回協議会次第説明 校長挨拶	(事務局) (校 長)
10:35	報告及び協議、質疑応答 ・学校教育自己診断、学校生活アンケートの実施について ・学校経営計画に関する進捗報告 →ICT活用実践報告 →避難訓練 →学校間交流 ・創立50周年記念アニバーサリー式典	(委員長) (首 席) (指導教諭) (首 席) (首 席)
11:30	事務連絡	(事務局)

上記のとおり報告等を行い、各委員より次のような意見をいただいた。

学校教育自己診断、学校生活アンケートの実施について

＜委員より＞

- ・マチコミメールを利用することで、保護者にとって回答しやすく、わかりやすくなると思う。
- ・記載方法の工夫も、保護者により伝わる内容になったと思う。
- ・学校間交流の報告と絡めて・・・交流の方向をアンケート実施前に発信したら、回答率も変わるだろう。

学校経営計画に関する進捗報告

＜委員より＞

◎ICT 活用実践報告について

- ・参観でタブレット端末を活用した学習の様子をみて、子どもの課題に欠かせないツールだと感じた。
- ・「話す」「書く」といった教育のベースの上に ICT 機器の活用があることを忘れがちになる。この点も含めて、タブレット端末の利活用の工夫を考える良い機会になっている。
- ・障がいのある方の進路（職域）が ICT 機器を使った内容のものにも広がっている。
- ・人間関係に課題がある子どもにとってはありがたいツールである。在宅の仕事も増え、卒業後にも活かせるように、高校からでも PC を使った学びができることは必要だと感じた。
- ・学部横断型キャリア教育の取り組みは、人のつながりを大切にした取り組みで素敵である。

◎避難訓練時における「マチコミメール」のアンケート返信率について

- ・「なにかあったときは、学校からメールがくる」ということに慣れていただく。
- ・メールの周知を PTA でも協力できないか。

◎学校間交流について

- ・ オンライン交流について、WiFi 環境を整えることは大切である。
- ・ 対面でできること、また、子どもたちの親睦を深める機会があって良い。
- ・ 地域の学校の人たちに障がいのことを理解していただき、その方たちが将来の社会の人材につながるとうれしい。
- ・

全体を振り返っての感想・意見

< 委員より >

- ・ 学校の活動を PTA の方にもっと知ってもらいたい。
- ・ 児童生徒数が多い中、こまやかに取り組まれている。
- ・ 居住地校交流の報告も聞きたい。
- ・ 個々の課題の差が大きいが、引き続き工夫をこらして、今後も取り組んでいってほしい。